

ミソサザイ *Troglodytes troglodytes* (Linnaeus)

【選定理由】

夏期は山間部の溪流で繁殖し、冬期は丘陵地の沢沿いにも生息するが、かつてに比べて数が減少しており生息条件が悪化している可能性がある。

【形態】

全長 10～11cm。全身が茶褐色で、風切、尾羽、腹に黒褐色の横斑がある。眉斑は淡褐色で細い。



愛知県北設楽郡設楽町, 1989年4月26日, 山本 晃 撮影

【分布の概要】

ヨーロッパ、アフリカ北部、中東、中央アジア、ロシア極東南部、サハリン、千島、カムチャツカ、朝鮮半島、台湾、北アメリカで繁殖し、北方のものは冬期に南下する。日本では、大隅諸島以北に周年生息し繁殖するが、冬期に暖地へ移動するものもいる。

県内では、山間部に周年生息し繁殖し、冬期は丘陵地や平野部でも見られる。

【生息地の環境 / 生態的特性】

夏期は、山間部のよく茂った林、特に溪流に沿いの湿った場所に生息し、木の根元、倒木、岩のくぼみなどにコケを主材とする球状の巣を作り繁殖する。冬期は、丘陵地の沢沿いのやぶや崖地にも生息する。ツィリリリチャヒチリリ・・・など複雑でよく通る大きな声で囀る。地鳴きは、チヨツ、チヨツと聞こえる。

【現在の生息状況 / 減少の要因】

段戸裏谷では、1980年代以降に繁殖期の数が減少している。岩屋堂など丘陵地では、冬期の観察記録が少なくなっている。減少の要因は明らかでないが、繁殖地である比較的標高の高い山地にある溪流周辺の環境が悪化しているものと考えられる。

【保全上の留意点】

溪流や沢沿いの森林の保全に努める必要がある。

【関連文献】

- 五百沢日丸・山形則男・吉野俊幸, 2000. 日本の鳥 550 山野の鳥, pp.155. 文一総合出版, 東京.
緒方清人, 1974-1998. 野生鳥類生息調査報告書, 段戸裏谷. 愛知県農地林務部.
竹下信雄, 1984. 黒田長久編, 決定版 生物大図鑑 鳥類, pp.212. 世界文化社, 東京.
花井 啓, 1996. 岩屋堂の野鳥. 愛知の野鳥 1995, pp.208-227. 愛知県農地林務部自然保護課.